

令和元年度第3回大阪府医療対策協議会議事概要

日時：令和2年1月10日（金曜日）14時00分から16時00分

場所：ドーンセンター 5階 大会議室2

【議事概要】

◆ 議題

- (1) 医師確保計画（案）について
- (2) 初期臨床研修医募集定員の配分方法について
- (3) キャリア形成プログラムについて
- (4) 地域医療支援センター及び専門医に関する意見書について

○医師確保計画について、国が定める医師偏在指標や府独自の必要となる医師数の推計を踏まえ、府として医師確保に取り組む対象区域及び診療科の設定、必要となる医師数、医師確保策について議論した。

○初期臨床研修医募集定員の配分方法について、最終配分調整の調査票について議論した。

○キャリア形成プログラムについて、要綱案を示し議論した。

○地域医療支援センター及び専門医に関する意見書について、大阪府医療人キャリアセンターの直営化及び大阪府の採用数を確保するための国及び日本専門医機構に対する意見書について議論した。

（議題1についての意見）

- ・今後、高齢化に伴い回復期の患者が増えると思うが、病床数の確保について、どのように取り組むのが今後必要。
- ・三次救急及び二次救急を集約することも考えていくべき。
- ・府独自の必要となる医師数は、何を目的にして算出しているのかを明確にすることが必要。

（議題2についての意見）

- ・2段階目評価の項目についても極めて重要であるため、段階で分けるのではなく項目によって点数に比重をつけるなどして一律に評価することも考えるべき。
- ・救急車受入数について、病床数や研修医の数なども、勘案すべき。
- ・卒後臨床研修評価機構の認定を受けていない病院の取扱いを、慎重に考えるべき。

（議題3・4についての意見）

- ・キャリア形成プログラムについて、地域枠の学生に個人面談を引き続き実施し、本人の希望を確認することを、しっかりとやっていくべき。
- ・初期臨床研修で産科・小児科プログラムを採用された研修医が、プログラム終了後、産科・小児科を専攻しているのか、追跡調査をするべき。
- ・専門研修の採用数に対するシーリングについて、国及び日本専門機構に対して、改めるよう強く要望していくべき。

（その他の意見）

- ・大阪府医療対策協議会での議論が、地域医療構想と連動する関係を作っていくことが必要。
- ・女性医師が働き続けていく上では、病児保育が主要になる。

◆ 検討結果

- ・初期臨床研修病院の評価項目については、意見を踏まえ引き続き検討していく。
- ・卒後臨床研修評価機構の認定については、機構と連絡を取り、状況を把握しながら検討していく。
- ・地域枠の学生との個人面談については、大阪府と地域枠担当の教師と情報共有しながら進めていく。
- ・初期臨床研修で産科・小児科プログラムを採用された研修医のプログラム終了後を、追跡調査していく。
- ・専門研修の採用に対するシーリングについて、意見を踏まえ厚生労働省に強く要望する。